

市民ワークショップ

実施結果（概要）

1

実施概要

■ 第1回 市民ワークショップ

日 時：10月14日（祝・月） 午後2時から4時まで

会 場：松本市立博物館 講堂

対 象：高校生及び対学生（松本大学との共催）

出席者：32名（松本大学：17名、松商学園高等学校：7名、田川高校8名）

テーマ：私たちが考えるミライの松本

■ 第2回 市民ワークショップ（松本のシンカを考えるワークショップ）

日 時：11月16日（土） 午後1時30分から4時まで

会 場：松本市立博物館 講堂

対 象：松本市にお住まい又は松本市に通勤・通学している方（公募）

出席者：29名（10代から70代の男女）

テーマ：もっと！暮らしやすいまちに

もっと！女性と若者が活躍するまちに

もっと！魅力的な中心市街地に

※ 1回目、2回目ともに、次期総合計画の策定と合わせ、松本のまち全体について考える中で、中心市街地の再設計に向けた意見等を聴取

2

(10/14) WS 1 “現在から考えるミライへの着眼点”

○ 松本の未来の姿を検討するに当たり、現在の松本の魅力及び改善点等に関するキーワードを抽出し、4つの項目に分類

項目	キーワード
大切にしたいこと	自然豊かな景観、緑、湧き水、芸術文化、音楽 松本城、歴史、城下町の昔ながらの建物、城下町の地形、古い街並み 商店街の賑わい、飲食スペース、カフェ、菊の湯、お祭り、イベント 住むのにちょうどよい、立地を活かしたまちづくり
伸ばしたいこと	湧き水ツアー・湧き水を使った食べ物、まちなかの緑 交通アクセス、無料駐車場、お店の種類、まちなかの活気（縄手通りなど） 遊ぶ場所、子どもが遊べる施設、食べ歩きできる場所 イベントの開催、イベントができる施設、イベント集客、松本山雅 観光客、移住者、外国人にも快適な空間
改善したいこと	交通アクセス、電車の本数、交通渋滞、信号の長さ、駐車場、道路 駅前の景観、まちなかの緑の少なさ、ベンチ ゴミ箱の設置、治安、郊外の街灯、宿泊施設が少ない
新たに生み出した こと	自由に使える開かれた図書館、エキナカのフリースペース ゆっくりできる共有スペース、無料で利用できるワークスペース、電車を待つスペース スポーツジム、健康増進施設の増設、体を動かせる場所 まちなかを見ながらランニングできるコース 豪華なホテル、イオン以外の大型商業施設、娯楽施設、複合娯楽施設、ライブができる大きなホール

3

(10/14) WS 1 “松本のミライ～20年後に実現したいまち～”

○ 20年後に実現したい松本のまちの姿について、グループワークを行い、キャッチコピーと3つのPRポイントに整理

	キャッチコピー	3つのPRポイント		
A	居心地がよく、自分のやりたいことができる、いつでもフラットといけるまち	一方通行は歩行者専用 ▶ 市街地の一方通行が多く、車と自転車 歩行者が混在している。歩行者専用にして、車も歩行者も安心に。	若者が手続きなく自由に使える施設、スペースがある ▶ 利用手続きが必要な施設が多い。若者に限らず、手続きがなく多くの人に使ってもらえるようにする。	決まった場所だけでなく街中全体でやりたいことができるまち ▶ 市内でイベントが行われているが、あがたの森など場所が限られている。どこでもイベントが行われるまち
B	住みたい！行きたい！安心！松本市	歩行者が安心して歩ける街 ▶ 公共交通がもっと発達し、まちなかに車で来なくてもよい。そのことで渋滞がなくなり、歩行者が安心して歩けるようになる。	緑にあふれる中心市街地 ▶ まちなかに緑が少ない。松本は晴れの日が多く暑い、木陰で休める場所を作りたい。	イベントで活気づくまち ▶ セイジオザワフェスティバルや松本城でのイベント、花時計公園のビアフェスなど新しいイベントが定期的に開催されている。住んでいる人と観光客が交流できるイベントが大事
C	松本市を世界中の人々の第三の居場所に	緑、芸術を身近に感じられる町	(未完成) ▶ 共有のフリースペース、家族や友人と楽しめる場所、みんなが集える場所、年齢に関係なく楽しめる場所、運動ができる場所があるまち	生活の利便性が高いまち ▶ 駐車場や駐輪場が豊富にあるまち
D	みんなが食べて動いて健康に	飲み水に困らない歩いて楽しい松本 ▶ 飲食店等に湧き水を活かしたメニューを考えてもらってPRする。	皆の運動をサポートする環境 ▶ 健康需要が高まっている。それに応えられるようなアスレチック施設を整備し、市民のスポーツを後押しする。	食べ歩きが楽しい商店街 ▶ 昔からある商店街や城下町の古いまちも守りながら、食べ歩きができるような商店街で活気づける。
E	笑顔が絶えず安全で誰もが働きたいくなるまち	子どもからお年寄りまで楽しめる豊富な店舗 ▶ 高齢化が進む社会でもみんなが楽しめるまち	安心安全で円滑な公共交通 ▶ 自動車も運転しやすい、歩行者や自転車も安全で歩きやすい二つが両立するまち	最低賃金が高く、誰もが働きたくなるまち ▶ 最低賃金が高くなると、松本で働きたい人が増える。

4

(11/16) WS 2 “松本のシンカを考える”

テーマ1:もっと！暮らしやすいまちにするには

課題	移動安全性の確保	取り組み案	交通量の規制、乗り合い、駐輪場整備、自転車専用レーン設備
	若者・子どもの居場所・交流		駐車場の充実した施設、子ども食堂、公園周辺の車両規制（歩行者天国） 不登校の子どもへの支援、各地区にフリーオープンスペース
	自由にいられる場所の整備		既存施設の有効活用、日差し・雨よけ・ほどよい目隠し・段差・木陰
	町内会（自治）の在り方		連絡方法のオンライン化、ゴミ相談窓口、若い人の参加
	交通の便		オンデマンド交通、中心地の駐車場、道路の住み分け

テーマ2:もっと！女性と若者が活躍するまちにするには

課題	しごと	取り組み案	デジタルな仕事ができる環境整備（インターネット、店、拠点）、シェアオフィス増 企業の取組改革、健康配慮を推し出した働き方の推進
	場づくり		公共施設の利用をより簡単に、公民館をシェアオフィス・自習室に ゆったりした場所、屋根のある公園の様な開放的な空間作り、娯楽環境の創出
	マッチング		学生と企業をフランクに繋ぐ、学校の授業や放課後に大人が関わる枠組み タレント・マネジメント自治体版

テーマ3:もっと！魅力的な中心市街地にするには

課題	ビジョン・意志	取り組み案	街の色々なところから意見を発信しやすい環境、都市マイスターを置く 窓口ネットワークを作る、多事争論会の日常化
	若い人が楽しめる街		若者のセカンドブレイスをつくる、行事・お祭りを学生とコラボ 街に関わり、愛着を持てる取組み、外国人と一緒に体験の機会 国内外から多様な企業の誘致、移住・起業チャレンジの機会

5

(11/16) WS 2 “もっと！魅力的な中心市街地にするには”

課題	具体的意見
人口減 郊外化、大型化の波	- 再開発が街を変えた - 歴史/伊勢町と西堀の再開発！/六九町商店 - 個店⇄全国チェーン店⇒つまらない個性の薄いまちになってしまった - 個店⇒テナント業に⇒テナント入らない・町会・組合（商店街解散）
ビジョン・意志	- どうあるべきか？今何が問題か？・商店街のかつてのつながりうすれた - 都市としての意志を持ちたい・将来ビジョンが乏しい。コンサル任せか？ - 市民による熟議の文化を形成すべき・強い思いを市民で共有したい - 出る杭は打つ風土/権威至上主義・あそびがない
どんな街に	- 人口減少⇒コンパクトシティを慎重におく - ベッドタウン（バスの運行？） - 中心地にもっと住宅（住民）を増やしてほしい/もっと芝のある公園があれば良い - 松本といえば“これ”というグルメ（小布施町なら“モンブラン”並んでも買うみたい） - 毎日市内へ出かける楽しみ/マルシェ・市内での買い物/日常（八百屋、魚屋、肉屋） - 中央公民館で趣味のワークショップなどがあればよい - 美術館にもっと魅力ある企画案がきてほしい - 音楽がない（コンサートの時だけ） - 中心地にスタジアムがあればよい（長崎のように） - 集まれる、たまる場所の少なさ/遊ぶ場所＝イオンになりがち - 駅近くの自習スペースが少ない/若者、その他学習スペース - ファッションホテルがない - 移住者への声かけ・観光客に対する声かけ・学生とのあいさつ - 交通悪い・車が多い・色んな道路がとても劣悪・中町を安心して歩きたい - 自転車道の整備/自転車はどこを走ればよいのかかわからない・自転車がとめにくい

6